



九州教具グループ代表
ふなはし しゅういち
船橋 修一 氏

高付加価値のサービス目指す

当社では各事業を通じてSDGsに取り組み、昨年は全国の地方新聞などが地域活性化の取り組みを表彰する「地域再生大賞」でSDGs企業賞を受賞し、長崎県の登録企業にも認定されました。この理念は社にある「社会に貢献すべし」に通じる部分があり、実現に向け常に変わり続ける姿勢を大事にしています。

デジタルトランスフォーメーション(DX)はSDGsとも密接な関係があり、Q-bicソリューションズでは教育のICT化で貢献しています。GIGAスクール構想で学校現場にはタブレット端末などが配備されていますが、当社は「納めてからが始まり」というスタンス。より良い運用ができるよう教職員と議論し、解決策を


具体化することを重視しています。20年以上協力してきた東彼川棚町の公立学校では、全国有数の情報化が進んでいます。昨年より長与町GIGAスクール構想にも関わらせていただいております。Q-bicホテルズが展開するホテルクオーレ長崎駅前では昨年、初めて外国人を支配人に起用。業績も上がっており、多様性の大



長与町GIGAスクール運営支援センター開設式にて

切さを実感しました。ホテルプリスヴィラ波佐見では地元イノシシ肉を使った料理を提供し、ホテルベルビュー長崎出島では感染症対策に配慮し小分け容器でのピュッツフェ方式を採用。こうしたホテルごとの多様な独自サービスを維持し、スタッフが自分の頭で考える習慣を大切にしていきます。SDGsという世界共通の物差しで、自分なりの答えを見つけていくことが重要。当社でもこれまでの常識にとらわれず、より付加価値の高いサービスの提供を目指します。

出身校	長崎総合科学大学
長崎の好きなところ	壮大な歴史や文化が交わりコンスタントイノブルを彷彿とさせるところ
趣味	ウィンターシバイク、読書、ジョギング

 九州教具グループ

九州教具株式会社
 大村市桜馬場1-214-2
 Q-bicソリューションズ株式会社
 長崎市田中町1452
 Q-bicホテルズ株式会社
 長崎市大黒町7-3



ちが出るほどです。主に「ライフ ミナー」を実施。契約後も末永く伴う課題に対して、当社ができるこ

株長T

これから日本は人口減少が本格